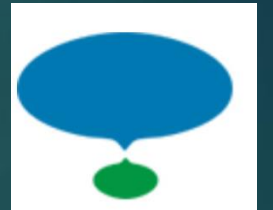


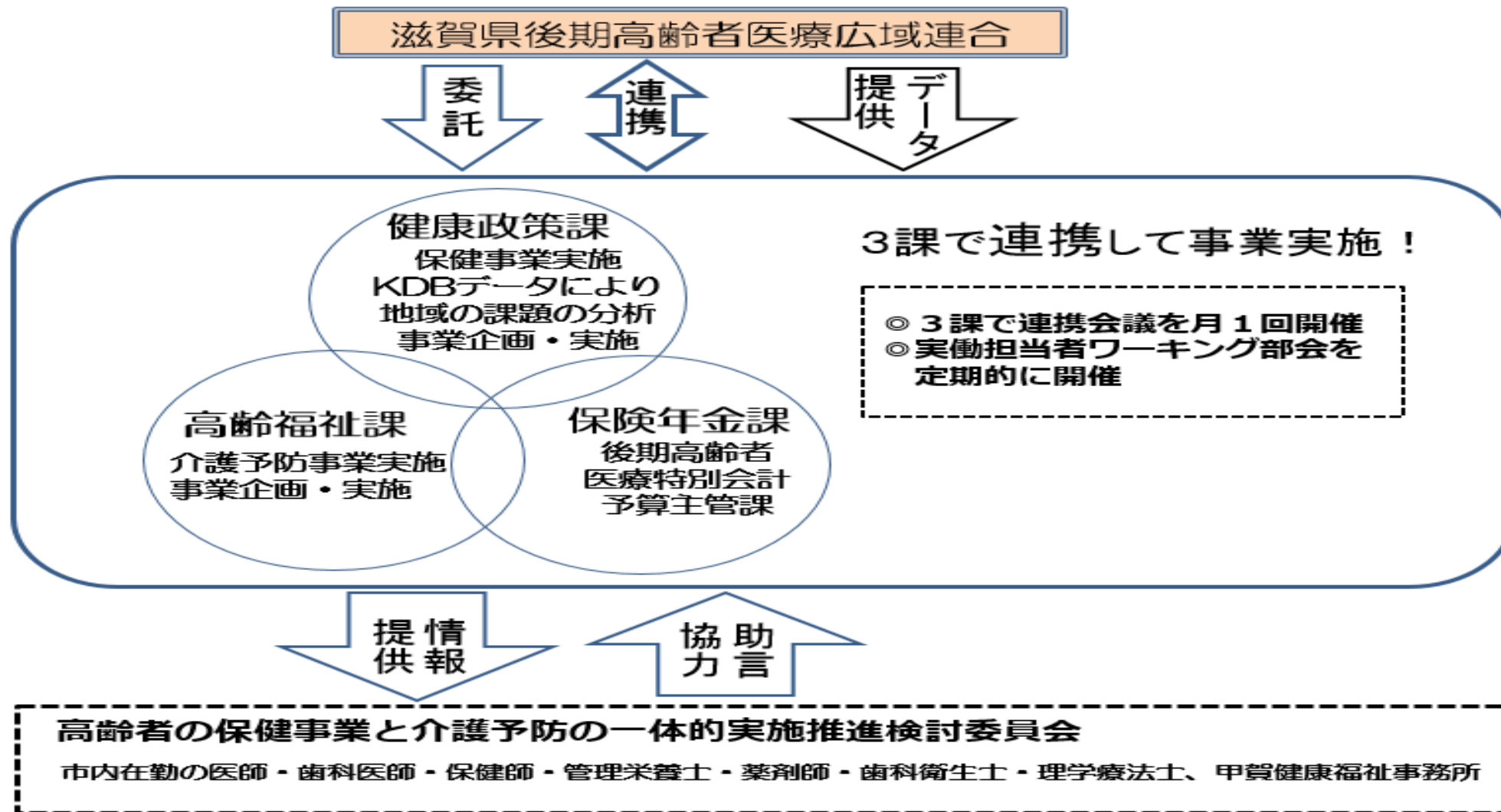
令和2年度

高齢者の保健事業と介護予防の  
一体的実施事業における取組



湖南省健康福祉部健康政策課 健康推進係 橋本 由美

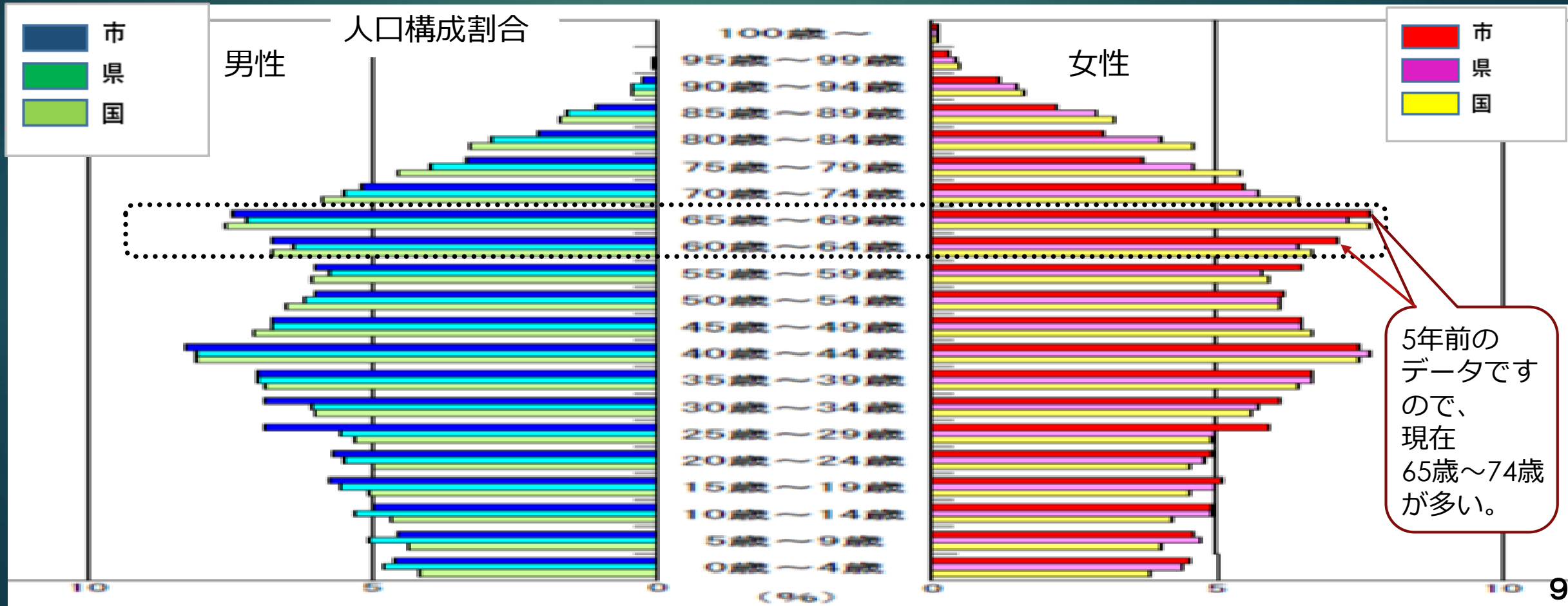
# 湖南省高齡者の保健事業と介護予防の一体的実施体制図



# 湖南省の状況

- 人口 54,572人(R2,10,1)
- 高齢者人口 13,450人(R2,10,1)
- 高齢化率 24.8% (国28.7% 県26.3% R2,10,1)
- 世帯状況 24,096世帯 (うち外国人 2,125世帯)

2015年10月1日現在 今から5年前



令和2年度  
実施事業

◎ 高齢者に対する個別的支援 ハイリスクアプローチ	糖尿病重症化予防事業
	服薬情報通知訪問事業
	健康状態不明者把握事業
◎ 通いの場への積極的な関与等 ポピュレーションアプローチ	オーラルフレイル教室
	お口のお手入れ100日チャレンジ事業
	フレイルサポーター養成講座
その他	ワーキング部会
	推進検討委員会・作業部会
	レクリエーション本作成
	いきいき百歳体操DVD作成 吉本興業への委託

# 糖尿病重症化予防事業

- 課題：湖南省は居住地別特定健診・健康診査の結果において、男女ともに糖尿病有所見者が県平均よりも有意に高く、後期高齢者医療保険の疾病別被保険者1人当たりの外来医療費は年々増加している。
- 目的：糖尿病による人工透析治療への移行予防・移行時期の遅延

## 糖尿病重症化予防

- 対象者  
滋賀県後期高齢者医療広域連合が定める「健診受診後訪問指導事業の概要」において糖尿病性腎症および糖尿病のリスクを伴う者。
- 内容  
訪問にて医療機関への受診勧奨を実施（滋賀県後期高齢者医療広域連合との協働実施事業）
- 実施  
訪問予定3人

## 糖尿病性腎症重症化予防

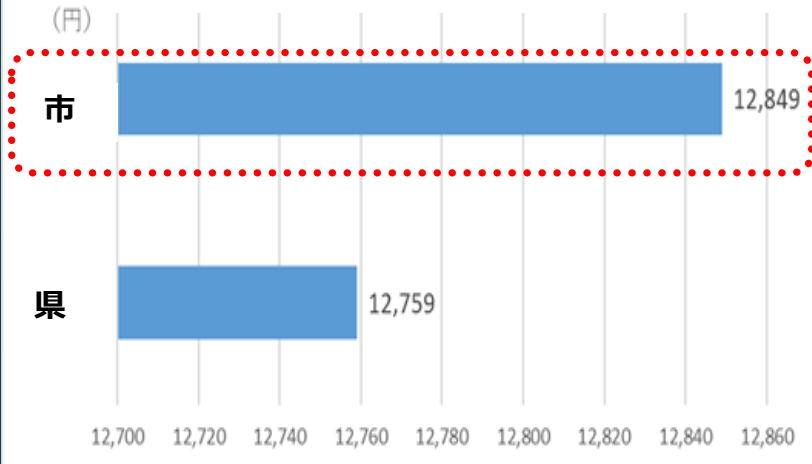
- 対象者  
国保事業の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム事業」における保健指導実施者のうち事業実施翌年度に75歳以上となった人5人（うち1人は死去）
- 内容  
国保事業からの継続的な保健指導の実施
- 実施  
電話勧奨を4人に実施、訪問指導者は2名（実4人）

# 服薬情報通知訪問事業①

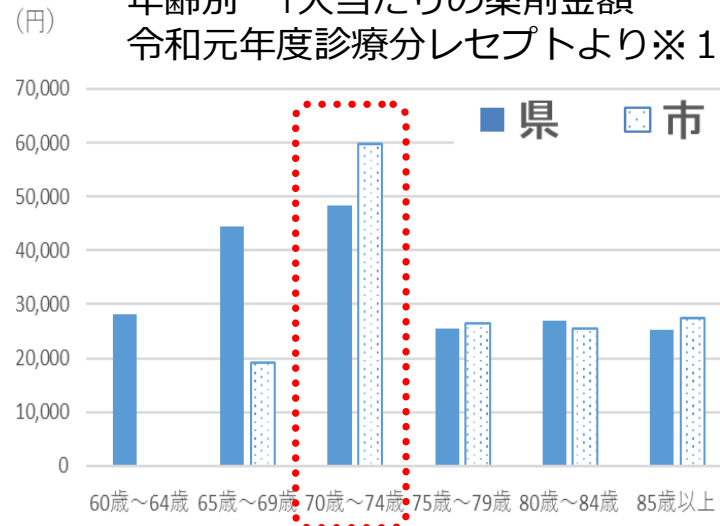
服薬に関する  
現状など

- ・ 1人当たりの薬剤金額は県より市がやや高い。（+90円）
- ・ 県と比較すると、70歳から74歳で県より1人当たりの薬剤費は高い。
- ・ 湖南省の高齢者数の増加とともに医療費総額は年々増加
- ・ 全医療費に占める調剤(外来のみのレセプト)の割合も 令和元年度は平成30年度に比べて増加

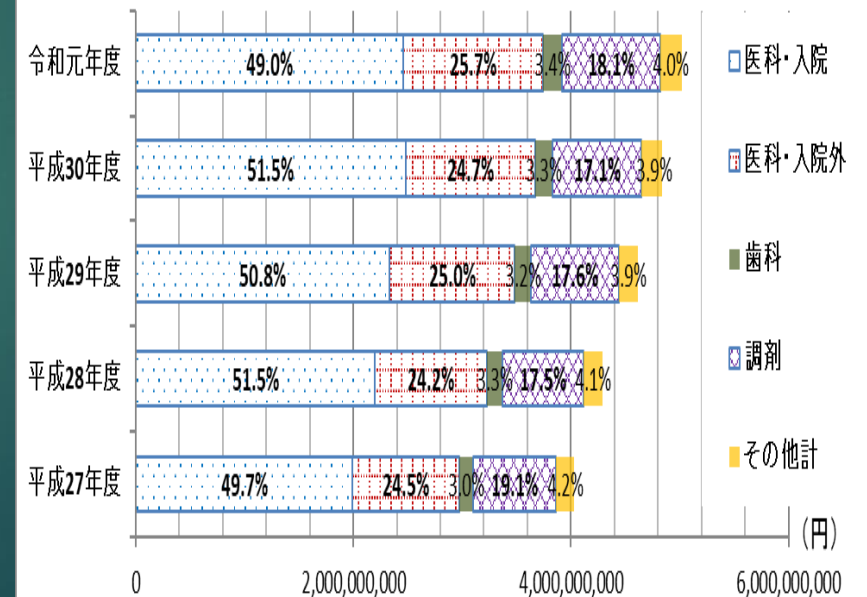
1人当たりの薬剤金額  
令和元年度診療分レセプトより※1



年齢別 1人当たりの薬剤金額  
令和元年度診療分レセプトより※1



湖南省後期高齢者医療費の年度別費用額の推移



※1 処方合計日数が45日以上、かつ平成31年3月以降に有効日(服用しているとみなされる日)がある処方、内服薬のみ処方

# 服薬情報通知訪問事業②

- 目的：服薬状況の確認や服薬指導を通して、対象者の服薬に関する正しい理解を促し、副作用などによる有害事象を回避させることで、薬物療法の適正化を図る。
- 事業に関する課題：服薬情報通知事業として、70歳から89歳で、3月診療分から6月診療分において、服薬数6種類以上、14日以上長期服薬、2医療機関以上の受診がある者に対して、10月に服薬情報を郵送で通知している。  
 その中において、重複服薬者の通知による効果（改善率）は、平成30年度は73%と高い一方、令和元年度は、59%と低下している。2年連続通知者の改善率は68%であった。

	通知者	医薬品種類数		医薬品種類数 改善率	重複服薬		重複服薬 改善率	相互作用		相互作用 改善率	慎重投与		慎重投与 改善率	被保険者数 (4月1日時点)	
		対象者	改善者		対象者	改善者		対象者	改善者		対象者	改善者			
平成30年度実施状況	862人	779人	193人	24.8%	119人	88人	73.9%	7人	4人	57.1%	615人	164人	26.7%	5,635人	
令和 元年度	実施状況	585人	530人	125人	23.6%	91人	54人	59.3%	5人	2人	40.0%	408人	39人	9.6%	5,830人
	うち2年連続通知者		313人	65人	20.8%	50人	34人	68.0%	3人	1人	33.3%	251人	21人	8.3%	

# 服薬情報通知訪問事業③

服薬情報通知事業に基づく保健師・薬剤師  
訪問相談・指導事業

令和元年度  
服薬情報通知事業 通知者 585人

効果測定対象者※1 530人

重複服薬対象者 91人

重複服薬改善者 54人

改善なし 37人

R2 服薬情報通知事業の対象外 12人

令和元・2年度 2年連続 服薬情報通知事業 対象者 25人

市内調剤薬局処方 23人

**実施対象者**  
18人+2人=20人

①市外調剤薬局処方 2人

薬剤師より問題なし処方 5人

②指導対象者 18人

薬剤師とともに  
訪問により指導予定

③薬剤師情報交換会に参加した薬局で処方された人 13人

④薬剤師情報交換会に参加していない  
薬局で処方された人 5人

調剤薬局にて指導（薬剤師に依頼済）

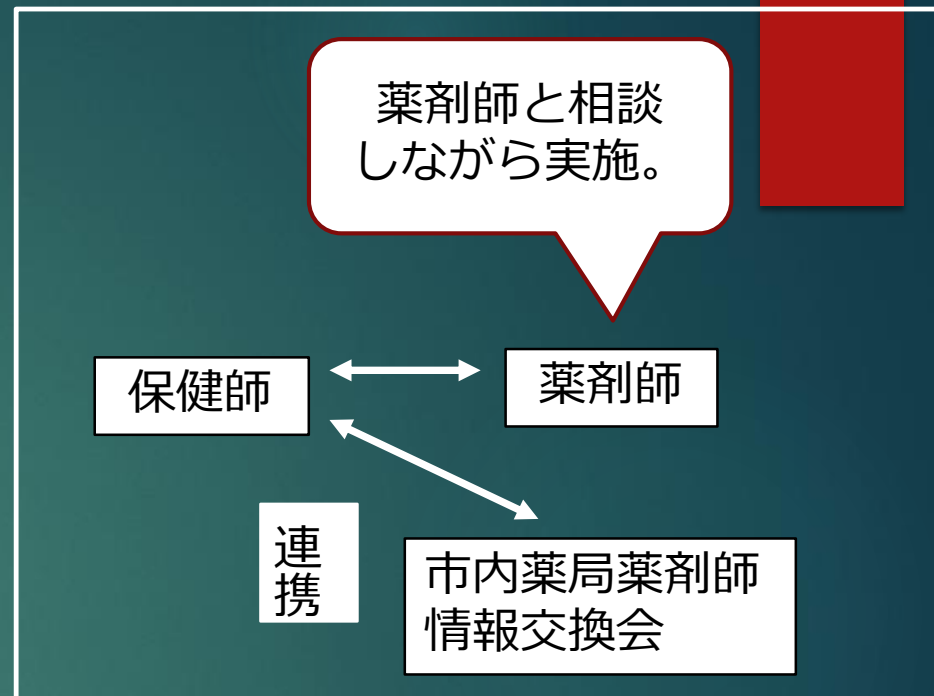
※1 基準診療年月（効果確認月の最終月）にレセプトがあった人を効果測定対象者とする。



# 服薬情報通知訪問事業④

## 実施対象者

- 訪問指導対象者 ①+④ (7人)  
対象者には事前に通知し、訪問を実施  
5人訪問実施、1人は入院中  
1人は受診医療機関からお伝えいただくように依頼。
- 薬局での保健指導依頼 ③ (13人)



おくすり相談報告

相談内容 指導後  にレ点

年 月 日 薬局 薬剤師

対象者 \_\_\_\_\_

薬剤管理  非薬物療法  健康食品など

薬剤師役割

薬効・副作用

重複疑い薬剤 ( )

残薬確認

薬剤名	数量

☆自宅でゆっくり☆

**無料** ~健康(おくすり)相談のご案内~

ご自宅へ、健康に関する相談にお伺いします。

保健師・薬剤師がご自宅を訪問して、健康に関する悩みを一緒に考えます。「お身体、病気・健康の事や、お薬の管理の仕方」「お薬をうまく飲み込めない」「複数の医療機関にかかってお薬をもらっているが飲み合わせが不安」など心配なことはありませんか？

薬局で残薬があるので処方量を減らしてほしいと相談をしたが、医師に言ってくれと取り合ってくれなかった。  
→次回の情報交換会で市民の声を伝え薬局でも可能な事を啓発

# 健康状態不明者把握事業①

- 目的：アウトリーチによる支援で健康状態を把握し、社会参加を促す情報を提供し、通いの場につなぐ。さらに必要な人に健診を促したり、介護保険サービスにつないで、要介護状態の進行などのハイリスク状態となることを未然に防ぐ。
- 対象者：
  - ① 介護保険要介護(要支援)認定者、特定健診・健康診査受診者(令和元年度)、医療レセプト有(令和元年度)を除いた被保険者 126人
  - ② 介護保険認定者のうちある時点で抽出した令和2年3月、4月に介護保険サービス未利用者で居宅介護支援事業所の届け出のない者 164人
- 方法：
  - ①②の対象者に、高齢者のフレイルの質問票と返信用封筒を送付する。  
(未返信なら訪問すると記載)
  - ①②の「相談したい」に○をつけている人への対応
  - ①の未回収者を積極的に訪問
  - ①の対象者は、返信がなかった者を抽出し、独居高齢者など訪問の優先順位を決める。  
上記の優先順位の順番に市職員と雇い上げの看護師等で訪問を実施する。

# 健康状態不明者把握事業②

高齢者のフレイルに関する質問票の回収者の状況

①126人 独居者43人(35.7%)

送付者

②164人 独居者39人(23.7%)

回収者 (R3,2,15現在) 96人 (76.1%)  
【訪問して回収含む】

うち 独居者 26人

返信 (R3,2,15現在) 122人 (74.3%)

うち 独居者 29人

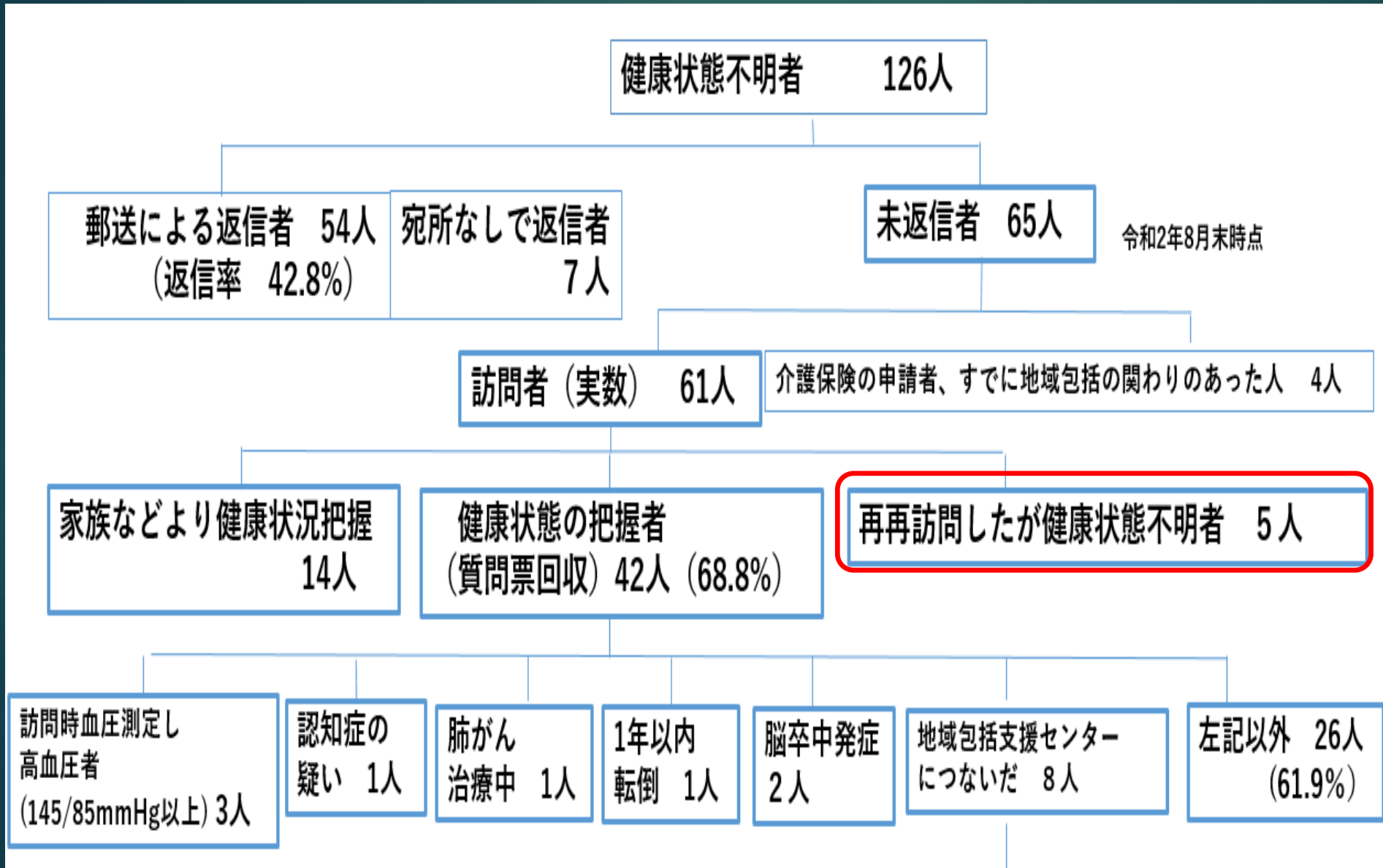
- 湖南市の75歳以上  
5,889人 独居者 1,546人 (26.2%)

①の人は、8月時点では**返信率は4割程度**その後訪問して7割は回収  
**独居高齢者の割合は市平均に比べ (+9.5%) と高い。**

②の人は、8月時点で**返信率は7割程度**  
**独居高齢者の割合は市平均に比べて (2.5%) と低い。**

# 健康状態不明者把握事業③

## ①の実施結果



- 令和2年度  
医科歯科  
受診歴有 2人
- 1年以上前  
(令和元年度  
平成30年度)  
歯科  
受診歴有 2人
- 医療レセプト  
過去にも無  
1人

# 健康状態不明者把握事業④ 各対象者のフレイル質問票回答結果



①は満足度が高い

②自覚症状があり健康状態よくない

②フレイルがすすんでいる

①の訪問での回収者で割合が高い

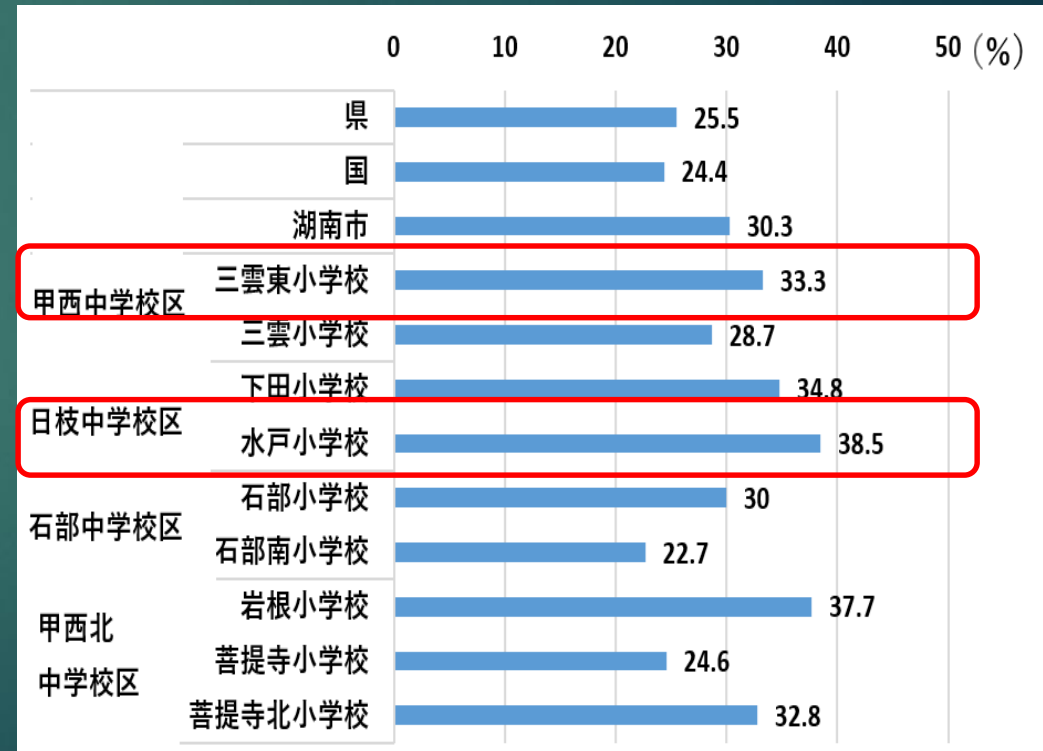
# オーラルフレイル教室①

●目的：教室の利用者が市の現状と課題や、口腔機能低下がフレイルにつながることを理解し、自身の口腔の状態を把握し、オーラルフレイルを予防するための生活を意識して取り組める。

●課題状況：令和元年度健康診査受診者（75歳以上）の質問票の回答で、「**食事をかんで食べる時に、かみにくいことがある**」と回答した者の割合が全国と比較して約6ポイント高い。オーラルフレイルのリスクが高く、口腔機能について課題がある。また、オーラルフレイルとなる大きな原因の1つに加齢がある。小学校区域では「かみにくいことがある」と回答した者の割合は**水戸小学校区が最も高い**。また、行政区で高齢化率をみると**妙感寺区が最も高齢化率が高い**。

●対象地区：三雲東小（甲西中）・水戸小学校（日枝中）区域内のいきいき百歳体操の実施会場

●対象者：上記の実施場所のいきいき百歳体操の利用者



# オーラルフレイル教室② 結果（1）

●内容：教室は1会場で2回実施とし、1回30分とする。2回目は1回目の約3か月後に実施。市の現状と課題、フレイルやフレイル予防に関する情報提供、オーラルフレイルの症状、お口の衰えの原因、フレイル予防についての健康教育を実施。必要な者に対しては、歯科医院等へ受診勧奨した。

●実施状況

小学校区 (中学校区)	オーラルフレイル教室 実施場所	1回目 参加者	2回目 参加者	合計 (人)
水戸小学校 (日枝中学校区)	団地南草の根ハウス	10	8	18
	団地北草の根ハウス	9	8	17
	団地中草の根ハウス	8	9	17
三雲東小学校 (甲西中学校区)	三雲まちづくりセンター	12	11	23
計		39	36	75



# オーラルフレイル教室③ 結果 (2)

自分の口の健康状態を知って、  
オーラルフレイル対策を

4点以上で危険性が高い!!

オーラルフレイルのセルフチェック表

質問事項	はい	いいえ
<input type="checkbox"/> 半年前と比べて、堅い物が食べにくくなった	2	
<input type="checkbox"/> お茶や汁物でもせることがある	2	
<input type="checkbox"/> 義歯を入れている*	2	
<input type="checkbox"/> 口の乾きが気になる	1	
<input type="checkbox"/> 半年前と比べて、外出が少なくなった	1	
<input type="checkbox"/> さきイカ・たくあん5口の堅さの食べ物を噛むことができる		1
<input type="checkbox"/> 1日に2回以上、歯を磨く		1
<input type="checkbox"/> 1年に1回以上、歯医者に行く		1

※ 感を失ってしまった場合は義歯等を適切に使って堅いのもしっかり食べることができるよう治療することが大切です。

合計の点数が

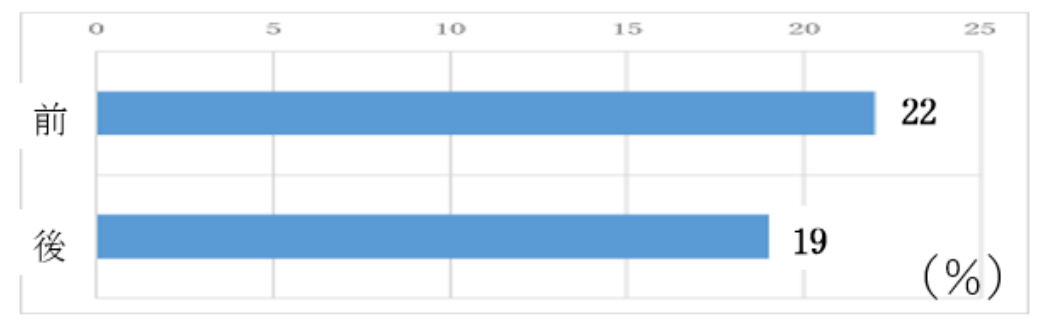
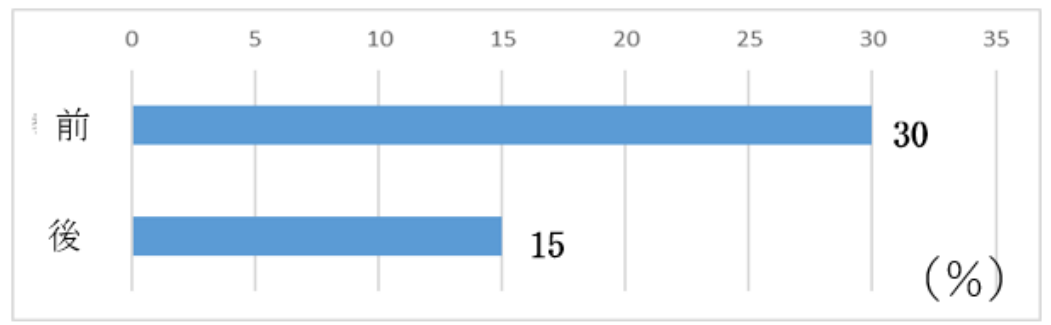
- 0～2点 オーラルフレイルの危険性は低い
- 3点 オーラルフレイルの危険性あり
- 4点以上 オーラルフレイルの危険性が高い

出典：東京大学歯学部口腔顎顔面外科 監修 日本歯科歯科大学

- 事業評価：1回目と2回目にアンケート、オーラルフレイルのセルフチェック表を実施。
- 対象者：1回目、2回目どちらも参加した人  
60歳代 6人 70歳代 16人 80歳代 4人 90歳代 1人 計27人

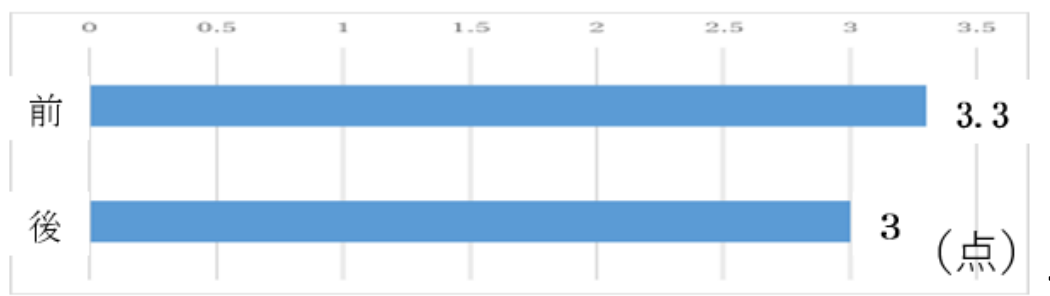
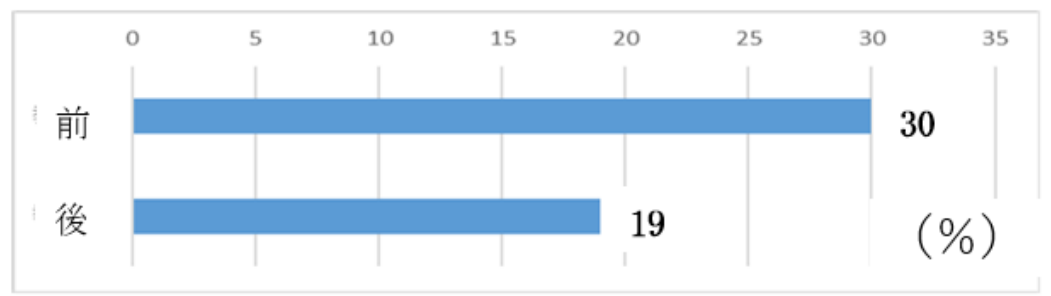
● アンケート・セルフチェック表結果： **改善した4項目**  
半年前と比べて固い物が食べにくくなった人の割合

さきイカ・たくあんなどの堅さの食べ物を噛むことが  
できない人の割合



口の渇きが気になる人の割合

セルフチェックの得点

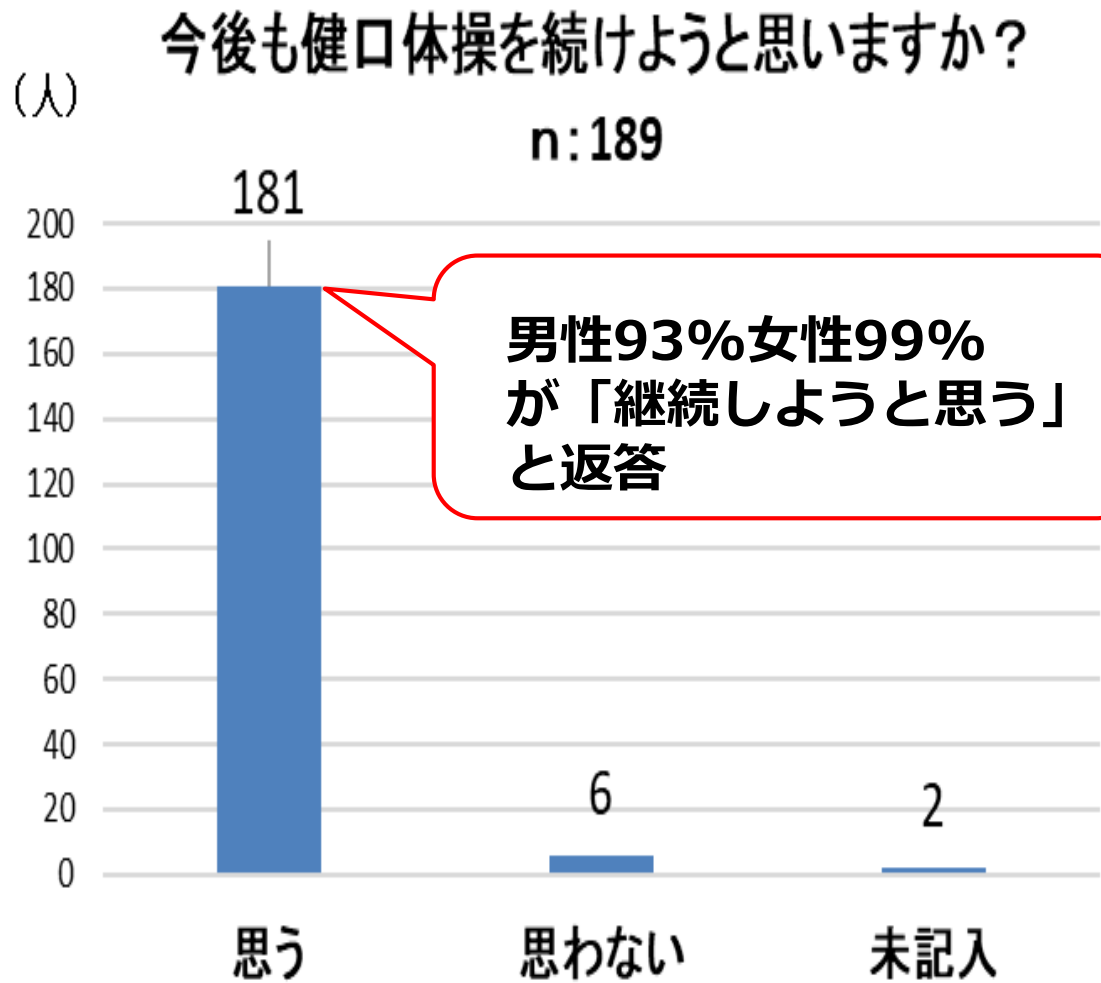




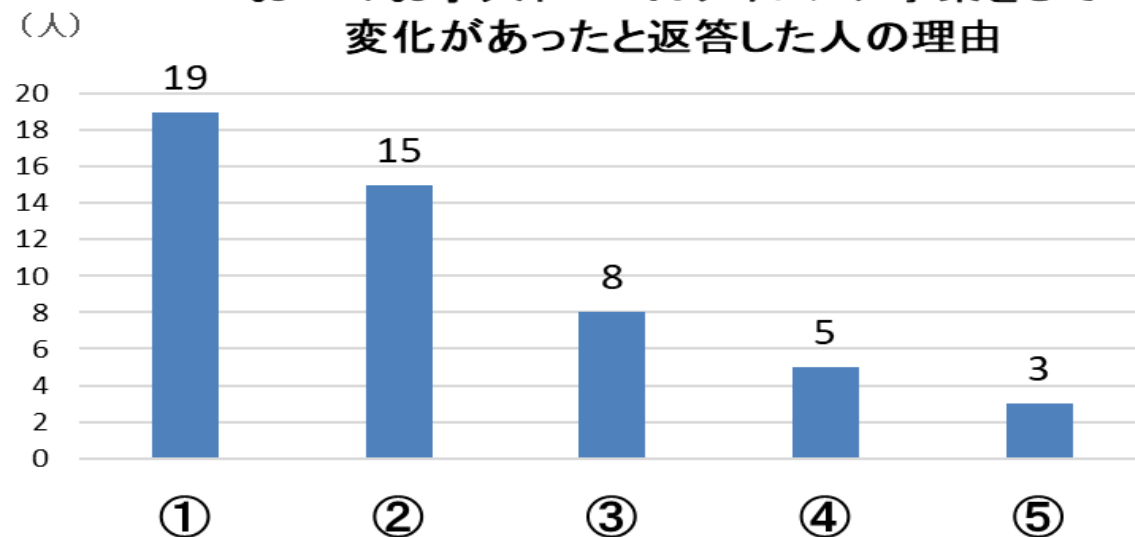


# お口のお手入れ100日チャレンジ事業 ②

## 結果 (1)



お口のお手入れ100日チャレンジ事業をして  
変化があったと返答した人の理由



- ① 唾液がよくでるようになった。
- ② むせることがなくなった、減った。
- ③ しっかり噛んで食べる習慣がついた。  
噛む力が強くなった。
- ④ ご飯がおいしく感じられた。
- ⑤ 口内炎が出来なくなった。  
舌や頬の裏を噛まなくなった。

# お口のお手入れ100日チャレンジ事業③

## 結果（2） 継続希望者の声

口周りのシワが薄くなったように思うわ。

唾液が出ると食べ物がうまく喉に運ばれるようになったわ。  
頑張ったら習慣づいたよ。

肩こりがなくなったよ。



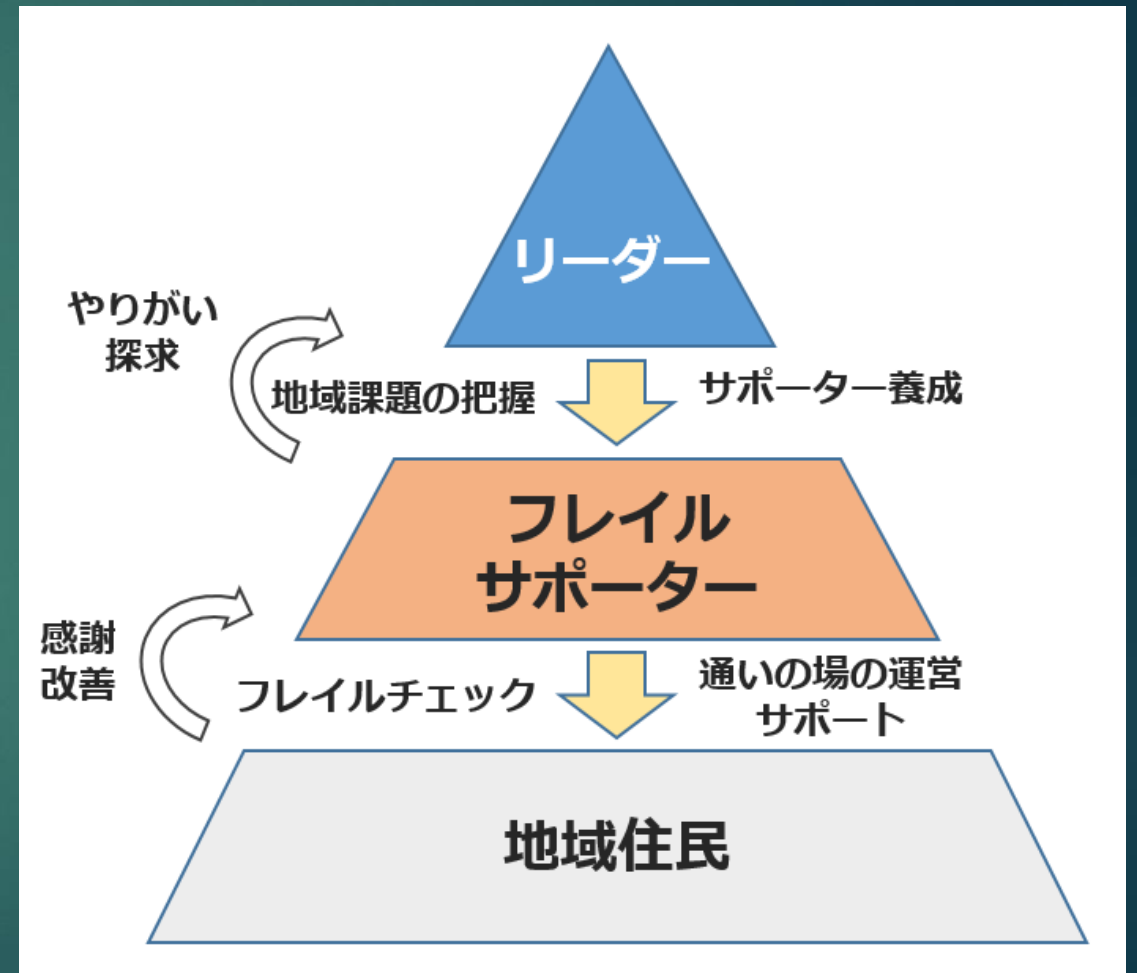
食事が美味しく楽しいわ。  
マッサージが気持ちよく習慣になったよ。

体の調子が良くなったので続けるわ。

いつでもどこでも出来る  
体操だから、トイレなどの僅かな時間でパタカラ体操ができるわ。

# フレイルサポーター養成講座①

- 目的：フレイルに関して正しく学び、知識を活かして自らがフレイル予防に取り組み、さらにはフレイルサポーターとして主体的に地域における介護予防事業の支援者として活動できる人材を育成する。
- 目指す姿：フレイルサポーター養成講座を受講し地域で継続的に活躍した人の中からリーダーとなる人が出てきて、主体的にフレイルサポーターの活動が継続していく事を目指す。数年後には、そのリーダーを養成するため、リーダー養成講座も実施していきたい。



# フレイルサポーター養成講座②

## ●実施方法

- 1) 対象者 高齢者の健康づくりやボランティア活動に関心がある湖南市民
- 2) 定員 30人程度
- 3) 周知方法
  - ①広報9月号に掲載
  - ②介護予防・日常生活支援総合事業「元気高齢者地域参画事業」であるこなん市100歳大学卒業生（73人）、市民音楽健康指導士（24人）を対象に情報交換会で周知
  - ③健康推進員の地区長部長会で周知

## ●内容：半日4回実施

内容	講師
フレイルとは何か (総論)	びわこ学院大学 吉原 真紀講師
フレイル予防(栄養)	管理栄養士 田中 美智子氏
フレイル予防 (オーラルフレイル)	歯科衛生士 山本 智子氏
フレイル予防 (運動と社会参加)	龍谷大学 井上辰樹教授
実践！！フレイル状態 かチェックしよう 楽しく活動！ グループワーク	市職員



# フレイルサポーター養成講座③

- 実施：フレイルサポーター養成講座28人が受講。修了者は26人（4回中3回受講者）
- 受講後活動：いきいき百歳体操の体力測定でフレイルの啓発を、体力測定の実施  
実人数17人、延23人が活動。



# フレイルサポーター追加研修を実施

- 目的：フレイルサポーター養成講座を受講後、受講者自らが生活の中でフレイル予防を実践するとともに、地域でのフレイル予防事業の支援者として活動できる人材を育成する。  
また、地域での活動体験や感じたことを全体で共有・協議し、フレイルサポーターとして市民が主体的に活動していくための動機づけを行い、フレイルサポーターとして取り組みたいことなどをともに検討し、来年度の活動につなげていくことを目的とする。
- 方法：①対象者に案内通知  
②追加研修は半日1回実施  
③研修当日に希望者を募るフレイルの啓発チラシ作成班は、追加研修後に数回検討会を実施

- 参加者：17人



日時：令和3年2月9日（火）9時30分～12時

場所：湖南省保健センター 1階多目的室

内容：～わがまちを、市民の力で元気に！～（仮）

滋賀医科大学 公衆衛生看護学科 伊藤 美樹子教授

オンライン研修 ～愛知県蒲郡市介護予防リーダー活動報告～

蒲郡市介護予防リーダー

小笠原 あさ子氏



ご清聴ありがとう  
ございました

